悲し

成嶋洋三さん（遺族提供）

長男「

仮店舗で接客する成嶋英貴さん（右から3人目）と母親の由紀子さん（右から2人目）。4月には新店舗がオープンする＝龍ケ崎市根町

市民が汚染実態解明

つくばの有志

放射能測定所開設へ

茨城新聞 2011年3月（月）

つくば市の住民有志でつくる茨城市民放射能測定プロジェクトが「つくば市民放射能測定所」の開所に向けて準備を進めている。福島第1原発事故による汚染の実態を市民の手で明らかにしようと自前で放射能測定器を導入し、市民が持ち込んだ食品や土壌を検査する。利用サービス開始は4月中旬を予定する。

同プロジェクトは同市内で農業生産法人を営む松岡尚孝さん(56)と大学非常勤講師の藤田康元さん(45)が共同代表を務め、市民団体のメンバー5人で構成する。

藤田代表は「放射能問題を国の暫定基準値だけで考えるのではなく、汚染の実態を明らかにし、地域の食の在り方について問題提起してみんなで考える機会をつくっていきたい」とその目的を語る。

測定所はつくば市妻木の貸家を利用し、4月8日に開所式を開く。市民からの測定依頼は同月中旬ごろから受け付ける予定。ベラルーシ製の放射能測定器1台を導入し、放射性ヨウ素131とセシウム134と同137の放射能濃度を測定する。約160万円の測定器は知人からのカンパやメンバーの自己負担で購入した。

測定は事前予約制。検体は依頼者がミキサーなどで加工したものを持ち込み、測定後は測定所が処分する。郵送でも受け付ける。測定結果は公表し、結果報告会なども開催していく方針。

料金は①計測時間30分コース500円（検出限界1㌔当たり13・8㍉㌘）②1時間コース千円（同9・7㍉㌘）③3時間コース2千円（4・8㍉㌘）。多くの人に利用してもらおうと、他県の市民測定所に比べて比較的安価に設定した。

また、同プロジェクトは会員制度を設け、年会費2万円の利用会員（1時間測定24回分）と賛同会員（法人・団体1口1万円、個人1口5千円）を募集し、運営資金となるカンパも受け付けている。問い合わせは藤田さん☎090（3902）5801。（戸島大樹）

高萩で震度5

10日午前2時25分ごろ、高萩本町で震度5弱の地震があった。気象庁によると、震源地は本県北部で、震源の深さは約10㌔。地震の規模はマグニチュード（M）5・5と推定される。

東日本高速道路によると、地震の影響で常磐道は日立南太田インターチェンジ―いわき中央インターチェンジが、午前2時から同4時まで通行止めになった。日立、

戦幕台と仙開 J1鹿島

被災地に